

資料 4

## 視察報告書

令和 元年 11月 1日

倉吉市議会議長 様

倉吉市議会  
(代表) 議員 福井 康夫



政務活動費により行政視察を実施しましたので、次のとおり報告します。

### 記

- 1 視察期間 令和元年 10月30日 (水) から 令和元年 10月31日 (木) まで
- 2 視 察 先 高知市 高知ちばさんセンター  
-----
- 3 視察議員名 福井 康夫  
-----
- 4 面 会 者 別紙のとおり  
-----
- 5 視察目的 第14回全国市議会議長会研究フォーラム参加のため  
-----
- 6 視察の経過及び感想  
別紙のとおり  
-----  
-----
- 7 添付書類  
(1) フォーラム会場地写真等  
-----  
(2) -----

要した経費： / 人合計 39,600 円

# 第14回全国市議会議長会研究フォーラム報告書

令和元年11月1日

倉吉市議会  
議長 伊藤 正三 様

倉吉市議会  
副議長 福井 康夫 印



次のとおり第14回全国市議会議長会研究フォーラムに参加したので、その結果を報告します。

## 記

- 1.日 時 令和元年10月30日(水)～31日(木) 13時00分～ 《二日目9時～》
- 2.場 所 高知市 高知ちばさんセンター
- 3.参加者 倉吉市議会副議長 福井康夫
- 4.主催者 全国市議会議長会
- 5.研究フォーラム内容及び感想

第一日目 第一 開会 開会のことば ～

### 第一部 基調講演

「現代政治のマトリクスーリベラル保守という可能性」

～中島 岳志 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授

第二

### 第二部 パネルディスカッション

「議会活性化のための船中八策」

コーディネーター 坪井 ゆづる 朝日新聞論説委員

パネリスト 高部 正男 市町村職員中央研修所学長

〃 横田 響子 (株)コラボラボ代表取締役

〃 古川 康造 高松丸亀町商店街振興組合理事長

〃 田鍋 剛 高知市議会議長

第三 次期開催地 長野市 (令和2年10月28日～29日)

第二日目 第四 課題討議

「議会活性化のための船中八策」

コーディネーター 坪井 ゆづる 朝日新聞論説委員

事例報告者 滝沢 一成 上越市議会議員

〃 久坂くにえ 鎌倉市議会議員

〃 小林 雄二 周南市議会議員

(感想)

中島岳志氏の政治のマトリクスにおける「保守の概念」について、非常に判り易く講演された。ラディカルデモクラシーが台頭する中、政治の領域が小さくなっている。

中島氏の尊敬する人は、中江兆民と大平正芳だと紹介されていた。特に大平氏の「政治は60点でなければならない」など先進的な発想事例が紹介され、大変参考になりました。

- 6.添付書類 ① 第14回全国市議会議長会研究フォーラム 資料
- ② 第14回全国市議会議長会 参加者 資料
- ③ フォーラム会場地写真等

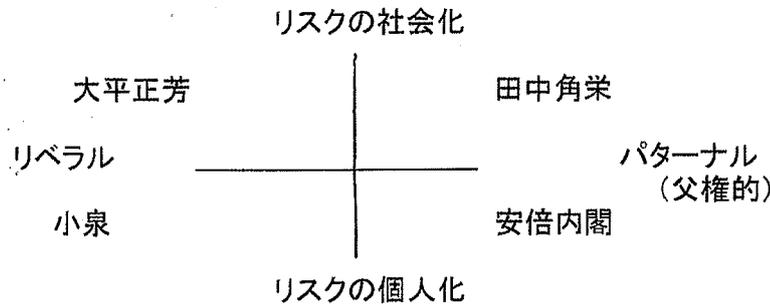
## 第一部 基調講演

### 1.「現代政治のマトリクスーリベラル保守という可能性」

—中島 岳志氏の講演内容—

- ① 尊敬する人は、中江兆民と大平正芳である。  
保守の概念とは？

#### ②政治のマトリクス



#### ③日本の政治の評価基準

租税負担率・全GDP国家歳出について・公務員の率(数)

これらの3つの指標を評価基準としている。日本の位置づけは世界の中では「小さな政府」である。

したがって、災害に弱い自治体となっている。

- ④1972年福祉元年。田中角栄、大平正芳の時代。その後ラディカルデモクラシーの台頭となり政治の領域が次第に小さくなる。主権者の阻害や、投票率の低下となっている。

- ⑤政治家は満点を取ったり、望むと進路が危うくなる。大平正芳氏の「政治は60点でなければならぬ」という考えは大切である。

## 第二部 パネルディスカッション

### 1.「議会活性化のための船中八策」

#### ※議会のチェック機能

未達成の理由や3年間の平均での評価を行う。情報の公開と行政と信頼関係は大切だ。(上越市)  
政策法務調査などを超党派でやっている。(鎌倉市)  
所管事務調査を積極的に行っている。(周南市)

#### ※市民の声をどのように反映しているか？

意見交換会の開催・議会モニター制度の導入等(市民500人) (上越市)  
中学生議会開催 など

議会報告会の開催・所管事務調査・市民アンケートの取組み (鎌倉市)  
関係団体との意見聴取など

※行政監視について

委員会懇談会、通称「ミニコン」などの実施をやっている。（周南市）  
過去、17回の開催。

「周南市の地域医療を守る条例」の制定など実現！  
請願・陳情の扱いは同様の扱いとしている。担当常任委員会で審議。

※情報公開について

個人の賛否を公開している。（上越市）

個人の賛否は公開していない。（周南市）  
本会議。議事録の公開で事足りると考えている。

以上、2日間にわたる全国市議会議長会研究フォーラムは、今回もボリュームと  
内容に富んだものとなっていました。  
今後課題でなるであろう、高部正男氏の「早急に検討すべき事項」について  
列記しておきたいと思います。

- ①地方選挙の統一 地方自治の日
- ②兼職・兼業規制の弾力化
- ③労働法制の見直し 休暇 勤務時間 休職等
- ④議員の厚生年金への加入

以 上



